

平成30年度 村上市地域包括支援センター月別事業実施報告

資料3

目 標		大目標：村上市が目指す地域包括ケアシステムを構築し、支えあい、安心して暮らせる思いやりのあるまちづくりを推進する。												第7期計画の基本理念「地域で安心して健やかに心豊かに暮らせるまちづくり」をめざし、地域包括支援センターとしてできることを大目標にあげ、中目標には実現するための具体的な目標、小目標には具体的な取り組みをあげた。				
目 標		中目標：①介護予防・日常生活支援総合事業の充実に向けた検討を行う。②認知症施策の推進 ③生活支援サービスの体制整備 ④在宅医療・介護連携の推進 ⑤成年後見制度利用促進のため体制整備																
目 標		小目標：①効果的な介護予防事業の実施のために評価について見直しを行う。②総合事業の未実施事業の検討を行う。③認知症初期集中支援チームの活動を軌道にのせる。④協議体と生活支援コーディネーターを中心に地域での助け合いのしくみづくりを進める。⑤在宅医療・介護連携のために、地域資源の実態把握を行う。⑥成年後見制度や市民後見についての普及啓発を行う。⑦成年後見制度利用促進のために成年後見制度利用支援体制検討会を充実させる。																
項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備 考	課 題・その他			
全体	地域包括支援センター運営協議会							26日					予定	任期H29.4.1～H32.3.31	事業運営等についてご意見いただき、より充実した活動ができるようにする。			
	包括担当者連絡会	23日	28日	25日	23日	27日	25日(火)	29日	26日	17日	28日	25日	22日	毎月1回実施13:30～16:30	各種事業打合せや検討、研修会復命等を行い、業務が円滑に進められるようにする。			
元気応援通所サービスC	荒 川	元気応援あらかわ教室(6月26日～2月12日 火曜日 計28回)											NPO法人希楽々に委託	自分に合った運動、栄養、口腔の手入れ等を学び、生活習慣に取り入れることができることを目標としている。				
	神 林	元気応援かみはやし教室(8月21日～2月12日 隔週火曜日 計25回)											特別養護老人ホームさつき園に委託	専門職の指導内容を充実させることで、対象者の目標達成を目指す。プログラム終了後に次の次の教室へつなぐ等のフォローをしている。				
	村 上	元気応援むらかみ教室 (5/22～12/18 毎週火曜日 計30回)											ウェルネスむらかみに委託	総合型プログラム(運動・栄養・口腔)のため、運動以外の栄養や口腔も大切なことに気づき、生活習慣にも取り入れられている。参加者からは教室が楽しみ、ここに来るとやる気になるなどの声が聞かれている。				
	朝 日	元気応援あさひ教室(9月8日～2月28日 毎週水曜日 計25回)											特別養護老人ホーム羽衣園に委託	閉じこもりがちなりやすい冬季に開催。個別指導を重視(運動は希望者2回、栄養も状況に応じ実施)しながら、各専門職が連携し、状態の改善を目指す。				
	山 北	元気応援さんぽく教室(10～2月 毎週1回 計15～20回)											山北徳洲会病院に委託	実施期間を5か月間とし、病院専門職による指導内容を充実することで、参加者の目標達成を目指す。				
介護予防・日常生活支援総合事業	元気クラブ(荒川)	実施期間 (5月17日～2月21日 木曜日 AM 月2回 計20回) 会場:荒川保健センター											NPO法人希楽々に委託	脳の活性化、社会交流の場として楽しく参加してもらうことを心がけている。新規参加者を増やしていきたい。				
	元気クラブ(神林)	実施期間 (5月～2月 隔週金曜日 計20回) 会場 神林保健センター											NPO法人希楽々に委託	新規参加者の参加勧誘を図りたい。そのために、教室内容に合う年齢層や対象者を見極め、また案内したことのない人への呼びかけを行うなど検討する。				
	元気クラブ(村上)	5/10～翌年2/28 月2回 第2・4木曜日 計21回 会場 コミュニティデイホーム											村上レクリエーション協会に委託	年度当初にスタッフ打ち合わせを実施。趣旨や実施方法等について研修を行った。男性参加者もあり、みな楽しく参加された。継続参加を希望する方が多い。				
	元気クラブ(朝日)	4月～12月 金曜日(概ね月2回) 計16回 会場:朝日保健センター											NPO法人 愛ランドあさひに委託	移動手段がない参加者のため、希望者には送迎をすることにした。				
	元気クラブ(山北)	1集落 毎週1回 全7回										1集落 毎週1回 全8回	NPOさんぽくスポーツ協会に委託	「閉じこもり」「うつ傾向」のある人になるべく参加してもらえるように、集落への周知の際にはPRしていきたい。				
	転倒予防教室	荒川:5か所 神林:28か所 村上:37か所 朝日:16か所 山北:4か所											各地区総合型スポーツクラブ等に委託	新規で教室を開始する集落がある一方、少人数でなかなか参加者が増えない集落もある。今年度からむらかみ体操のDVDを配布し、各会場で活用されている。				
	水中運動	22・29日	5・12・19・26日	10・17・24・31日	4・11・18・25日	9・16・23・30日							ウェルネスむらかみに委託	全20回 年々参加者が減少傾向にある。参加の呼びかけPR等、力を入れた。				
	脳トレ運動教室	10・24・31日	14・28日	12・26日	9・23・30日	13・27日	11・25日	8・22・29日	13日	10・24・31日	14・28日	14日	ウェルネスむらかみに委託	今年度は新規参加者のみを対象とし、通年おとして教室を実施した。当初、参加者が非常に少なく、幾度の周知と他教室の終了で申込みが増加した。次年度は自主教室「脳活」と日程を調整通年実施を予定。				
	ゆーとびあ【むらかみ】	1コース計40回 週1回(水・木・金:3コース) 4/11～3/15 会場:あかまつ荘											村上レクリエーション協会に委託	介護予防体操ではむらかみ体操を取り入れたり、毎月のカレンダーを自己作成し、運動習慣の継続を図った。また、介護予防の意識強化のため、新潟リハ大の協力により、運動・口腔機能向上の集団指導を行った。				
	男前健康運動教室	20・27日	11・18・25日	1・8・15・22・29日	13・20・27日						7・14・21・28日	5・12・19日		ウェルネスむらかみに委託	1コース20回としたことで、より運動習慣が付き、参加者同士の交流も深まり、積極的に声を掛け合う場面も多く見られた。教室終了後も運動が続けられるような働きかけが課題。			
	元気応援C 卒業生の会	はばたき会(6月26日～2月12日 火曜日 PM 月2回 計16回)											NPO法人希楽々に委託	元気応援あらかわ教室修了者の運動習慣の継続を支援する。				
		足腰しゃんしゃん教室 (1コース 20回、2グループ)(月2回、木曜午前)											NPO法人希楽々に委託	元気応援かみはやし教室修了者や、筋力低下の気になる人の運動習慣の継続を支援する。				
		元気もりもり教室 5月～2月 月2回程度開催											NPO法人 愛ランドあさひに委託	元気応援あさひ教室の修了生を対象に、運動の機会の継続を目的とした事業。筋力の向上が見られている。				
	地域介護予防活動支援事業(高根・塩谷)	高根:いっぶくどころ 毎週土曜日 午前中開催 塩谷集落:お茶の間 月第1～3水曜日(3会場を回る)午前中・月4・5週 めでたや											高根:高根コミュニティラボわら塩谷:塩谷集落	高根:空き家を改修したつどいの場を実施。今年度で3年間のモデル事業終了となる。塩谷:集落で週1回の居場所作りに取り組む。来年度も継続。				
	地域リハビリテーション活動支援事業	在宅リハビリ指導(9名利用) 介護事業所講習会(10/25 29人参加) 介護事業 所個別指導(6事業所)											地域のリハビリテーション専門職から派遣	介護事業所講習会では部位別にレクリエーションを考え、明日からでも実践できるものが多く、好評であった。				
	介護予防運動指導者養成講座											神林:22日、29日	神林:5日、12日、23日	朝日:23・30日	朝日:6・7・13日	ウェルネスむらかみ・希楽々・愛ランドあさひに委託	対象者には、地域で活躍する意欲のある人(茶の間代表者・区長・民生委員・老人クラブ)を募集し、受講者がすぐに実践できるよう講座内容を考える。	
	介護予防講演会											7日						市内で実施している「地域づくり型介護予防事業」の活動や個人・集落で開催している活動を紹介。各地区の取り組みを参考に一人ひとりが考える機会となっている。
	介護予防把握訪問	荒川・村上	荒川・村上	村上	村上						山北			高齢者実態把握のための看護師等による訪問	基本チェックリスト未回答者920人に対し、実態把握訪問を実施。介護予防事業等への参加動向や継続訪問、介護申請が必要な人を把握し、関係者へつなげた。			
	介護予防事業打ち合わせ											11日			15日		介護予防事業の評価のため、その指標のひとつとして、体力テストの方法の統一化に向けて検討する。	

平成30年度 村上市地域包括支援センター月別事業実施報告

資料3

目 標		大目標: 村上市が目指す地域包括ケアシステムを構築し、支えあい、安心して暮らせる思いやりのあるまちづくりを推進する。													備考	
		中目標: ①介護予防・日常生活支援総合事業の充実に向けた検討を行う。②認知症施策の推進 ③生活支援サービスの体制整備 ④在宅医療・介護連携の推進 ⑤成年後見制度利用促進のため体制整備													第7期計画の基本理念「地域で安心して健やかに心豊かに暮らせるまちづくり」をめざし、地域包括支援センターとしてできることを大目標にあげ、中目標には実現するための具体的な目標、小目標には具体的な取り組みをあげた。	
		小目標: ①効果的な介護予防事業の実施のために評価について見直しを行う。②総合事業の未実施事業の検討を行う。③認知症初期集中支援チームの活動を軌道にのせる。④協議体と生活支援コーディネーターを中心に地域での助け合いのしくみづくりを進める。⑤在宅医療・介護連携のために、地域資源の実態把握を行う。⑥成年後見制度や市民後見についての普及啓発を行う。⑦成年後見制度利用促進のために成年後見制度利用支援体制検討会を充実させる。														
項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備 考	課題・その他	
権利擁護業務	成年後見制度の活用促進			26日		17日			5日		15日		19日	福祉課と共催で実施	前年度同様に検討会として同じメンバーで実施。11月に制度の市民を対象に成年後見セミナー開催。落語家を講師にシンポジウムを実施。128名の参加。	
	高齢者虐待防止ネットワーク会議											21日			今年度は、会議内容に共通点があることや参集者の負担軽減を考え、高齢者虐待ネットワーク会議と合同開催とした。今後も合同で行う予定。	
	消費者被害の防止							20日 ケアマネ連絡会							消費生活センターと連携を図り、ケアマネ連絡会等の場で情報提供してもらった。また個別のケースについては、随時連携し支援。	
包括的・継続的 ケアマネジメント (ケアマネ・介護サービス 事業所連絡会など)	全 体								17日		19日				今年度も関川村と合同で、佐藤信人先生を講師に2回コースで、「介護支援専門員のあり方」や「リ・アセスメントシートの活用」について研修した。	
	荒 川					1日					13日			情報交換と事例検討会	各事業所との情報交換、事例検討会の他に県立坂町病院認定看護師を講師として、じよく創ケアについても研修した。	
	神 林	19日		21日					17日		20日		22日	情報交換と事例検討会	各事業所との情報交換会や事例検討会を予定している。	
	村 上		17日		19日				20日	15日	16日		14日	情報提供・事例研究会	昨年同様、年に数回は事例検討等を行い、スキルアップを図りたい。	
	朝 日			21日					17日				14日	情報交換と事例検討会	昨年度同様、地区担当保健師同席の事例検討を実施し、全体のスキルアップを図った。	
	山 北			28日					11日		14日		14日	情報交換と事例検討会	年4回、事業所との情報交換と専門職としての技術向上のために事例検討会を実施した。	
生活支援 体制整備事業	地域 ケア 会 議										全体説明 会16日	13日	8日		今年度、地域ケア個別会議について、説明会と練習会を開催。来年度から2か月に1回定期開催する予定。	
	互近所ささえ～る隊 会議 (協議体会議)	全 体				27日							27日			7月は柏崎市の活動を、2月は市内各協議体の活動報告会を聞き、情報共有や学びの場となった。今後も広く協議体やSCの情報交換の場、研修の場としたい。
		1 層	27日					13日				30日				啓発普及のためのロゴマークの募集や各協議体の課題「移動支援」について取り組んだ。移動支援については、来年度以降も継続して取り組む。
		荒 川				17日				28日			7日			お茶の間を中心にSCや互近所ささえ～る隊の活動を周知し、住民の声を聞きながら取り組んだ。
		神 林	17日		12日			28日全体 会	15日			7日				地区全体フォーラムを行い、集落ごとに取り組めそうな「身近な支え合い」についてワークショップを行った。来年度はそれを元に「ささえあいカタログ」の作成を行う。
		村 上		10日	14日						3日		18日			周知活動と平行し、関心のある自治会やお茶の間に出席講座や座談会を開催し、身近な助け合いの仕組みづくりについて考えてもらう投げかけを行った。
		朝 日		21日				25日			4日		19日			周知活動は継続。「檜原安心ささえあい事業」の発足。長津地区全集落での「集まりの場」の開設、実践発表含む講演会の開催。自分ごととして行うことの難しさがある。
	山 北		15日			22日					18日		7日		昨年と同様に集落単位でフォーラム・アンケート調査を実施し、集落の課題、対策について検討。結果を集落新聞等を作成し、周知した。	
生活ささえ愛隊長(SC)連絡会					27日				16日			27日			1層・2層の協議体活動の情報共有と、活動に際しての課題や方向性をSC・包括担当で定期的に話し合っている。来年度も継続する。	
在宅医療・介護連携 推進事業	在宅医療推進委員会					2日							11日		在宅医療推進センター・歯科医師会・村上保健所・関川村・粟島浦村	在宅医療推進センター、保健所、関川村、粟島浦村、在宅歯科連携室、保健医療課と連携し、事業を実施した。病院看護師とケアマネ、医師とケアマネなど関係者がつなげる会の開催や医療・介護資源情報の更新を行い、医療・介護連携を進めた。
	在宅医療推進センター業務担当者会議	17日	18日	6日	2日・31日		5日	12日	28日		15日	14日	6日			
認知症 総合支援事業	認知症初期集中支援推進事業														随時相談ケースが出たら、ケース会議を行い支援する。	
	認知症対策推進会議			○									○		今年度は、会議内容に共通点があることや参集者の負担軽減を考え、高齢者虐待ネットワーク会議と合同開催とした。今後も合同で行う予定。	
	介護者のつどい					10日				16日						介護者のつどいは今年度2回に増やす予定だったが、さんアキ者からの要望もあり計4回開催した(うち1回は男性介護者有志の会)。介護者同士がつながり、継続的につながれる機会として今後も開催し、支援していきたい。
	認知症カフェ	荒 川								17日					会場 GHあらかわ	当事者やその家族、介護関係者が気軽に相談したり、憩える場として利用してもらえるよう周知した。
		神 林		27日		22日		30日		18日		20日	10日		会場 GH まつかぜ 午後～	介護者同士又は当事者の集いの場、いこいの場として広く周知し、機能させる。
		村 上	18日	23日	27日	25日	22日	26日	24日	28日	19日	23日	20日	20日	マナボテ村上2階会議室	介護者や当事者、地域の方の楽しみ・ストレス発散の場となっているが、参加者が固定化してきていることから、多様な人が参加できる場作りが課題となっている。
朝 日		7日	12日	14日			8日		10日		12日	9日		会場 GHあさひに委託	介護者が情報交換できるくつろぎの場や相談の場となるように配慮しながら、年7回実施した。	
山 北		27日					27日			13日		14日	会場 GHさんぼく GHしおかぜ	認知症関係者が気軽に相談できる場としての定着を目指す。		

平成30年度 村上市地域包括支援センター月別事業実施報告

資料3

目 標		大目標: 村上市が目指す地域包括ケアシステムを構築し、支えあい、安心して暮らせる思いやりのあるまちづくりを推進する。												第7期計画の基本理念「地域で安心して健やかに心豊かに暮らせるまちづくり」をめざし、地域包括支援センターとしてできることを大目標にあげ、中目標には実現するための具体的な目標、小目標には具体的な取り組みをあげた。	
中目標: ①介護予防・日常生活支援総合事業の充実に向けた検討を行う。②認知症施策の推進 ③生活支援サービスの体制整備 ④在宅医療・介護連携の推進 ⑤成年後見制度利用促進のため体制整備		小目標: ①効果的な介護予防事業の実施のために評価について見直しを行う。②総合事業の未実施事業の検討を行う。③認知症初期集中支援チームの活動を軌道にのせる。④協議体と生活支援コーディネーターを中心に地域での助け合いのしくみづくりを進める。⑤在宅医療・介護連携のために、地域資源の実態把握を行う。⑥成年後見制度や市民後見についての普及啓発を行う。⑦成年後見制度利用促進のために成年後見制度利用支援体制検討会を充実させる。													
項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備 考	課題・その他
	認知症サポーター養成講座													随時、出前講座として受付ける。	H31年1月現在、15箇所(638人受講)で開催。年度末にも数カ所予定あり。この講座のほか、ステップアップ講座も3カ所で開催している。
	認知症高齢者見守り事業(ステッカー)													随時、申請を受付ける。	H31年1月現在、29人登録(うち2人登録削除)。ステッカーの活用による家族への早期対応数は0件。
	徘徊高齢者等家族支援事業(GPS)													随時、申請を受付ける。	H31年1月現在、3人登録。GPSの活用による検索、発見数2件。
任意事業	物忘れ相談会	16日	21日	18日	23日	20日	10日	15日	19日	17日	21日	18日	18日	毎月1回(月曜日)9:30~11:30 支所単位で相談会を実施	相談は設定日に限らず随時行っているが、日程を設定し今後も継続する。来年度は曜日を変更(月AM→水AM)する。
その他	市報	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	15日	1日	1日	地域包括支援センターだよりほか、事業等のお知らせ	今年度は各地区互近所ささえ～の隊の活動を中心に掲載した。
	イベント							30日					9日	ふれあいフェスティバル(福祉まつり) 朝日地区地域包括ケアシステム講演会	・骨密度測定を実施し、134人か参加した。 ・参加者150名。旭日地区内でしくみづくりを考え3地域の実践発表を行い、地域で支えあうことの啓発普及を行った。